



連絡先 :

Kathy Chung
Marketing Manager
+852 2234 8905
kchung@arri.asia

Darlene Dy
Marketing Communications Officer
+852 2234 8904
ddy@arri.asia

即時配信向け

ARRI 画期的なシネズームシステム搭載の 4 つの新しいシグネチャーレンズをリリース

- 「ARRI シグネチャーレンズ」シリーズに、「シグネチャープライムレンズ」と同じタイムレスなロックを実現する新レンズが登場
- 今回のリリースで、全焦点距離すべてが利用可能に
- あらゆるラージフォーマットカメラやスーパー35mm センサー搭載カメラと互換性あり
- いつまでも色あせないデザインで、HDR および 8K の高解像度に対応
- 最初に 45~135mm/T2.8 と 65~300mm/T2.8 (および 1.7 倍の 65~300mm エクステンダー) 、続いて 16~32mm/T2.8 および 24~75mm/T2.8 をリリース予定

2020 年 9 月 23 日、ドイツ・ミュンヘン – シグネチャープライムレンズに使用できるハイクオリティズームレンズの市場の需要に答え、ARRI は新たにあらゆるラージフォーマットカメラやスーパー35mm センサー搭載カメラと互換性がある 4 つのシグネチャーズームレンズのリリースを発表しました。4 つのレンズにはすべて T2.8 の高速停止機能が備わり、圧倒的な広さの焦点距離範囲、完全な画像の一貫性、HDR の互換性、8K の高解像度が特長となっています。



ARRI シグネチャーズームレンズは、現在発売されている他のシネズームレンズを超える、優れた光学とパフォーマンスを提供します。非常に長いエクステンダーを備えた4つのシグネチャーズームは、業界最大である16～510 mmの焦点距離範囲をカバー。4つのレンズすべてにT2.8の高速停止機能を備え、幅広くカバーされた焦点距離とアイリス値設定で安定した露出と品質により、卓越した画像の一貫性を実現します。また、光学的にマッチした画質、汎用性、速度において、他のズームレンズにはない高い性能を発揮します。

シグネチャーズームは、光学性能、デザイン性、重量といったすべてのニーズをバランスよく満たしています。また、シグネチャープライムと同様に、美しいスキントーンや自然な色再現性や柔らかなボケにより、より温かみのある映像に仕上がるのが特長です。色収差やさまざまな不完全性による制限を受けず、シグネチャーが誇る卓越した技術がしっかりと被写体の個性をつかんで引き出すため、臨場感のあるユニークなルックが表現でき、立体的で没入感のあるエモーショナルな映像の世界に視聴者を惹き込むことができます。

セットの中ではプライムレンズが最も活躍しますが、シグネチャーズームもまた、「シグネチャー」シリーズの機能を拡張し、ズームにおける時間の削減と実用的なメリットをもたらすため、あらゆる撮影状況で活用できます。また、シグネチャープライムは取り外し式の磁石式リアフィルターホルダーを備えており、映画製作者はルックを自在にカスタマイズすることができます。

元々高速だったズームレンズのオンセットワークフローは、シグネチャーズームの機能をさらにスピードアップします。フレアには最適な特殊レンズコーティングが施されており、これにより作業の効率化と、動きの遅延の低減が可能になります。例えば、マグネシウム素材の採用によりレンズが軽量化され、セットアップが簡単かつスピーディーに行えます。また、内蔵の「ARRI LDS-2 レンズデータ システム」は、オンセットおよびポストプロセスにおける複雑なタスクを簡素化します。そして、非常に短い焦点距離をカバーできることから、現場のクリエイティブな要求に柔軟に対応できます。また、レンズ交換を減らすことで時間を削減し、たくさんのレンズを運搬する必要がないため、その分人件費が節約できるというメリットもあります。

シグネチャーズームのデザインは、ラージフォーマット（フルフレームまたは VistaVision）に対応しているだけでなく、スーパー35mm センサー搭載カメラでの撮影にも適しています。高画質と、前景と背景がより分離して見えるより臨場感のあるシネマティックなルックが実現します。8Kの高解像度とスムーズなボケにより、小型のスーパー35mm フォーマットでも自然で没入感のある画像を撮影できます。いま



やささまざまなフォーマットを使用する撮影での共通標準となった LPL レンズマウントを採用しており、あらゆるメーカーのレンジフォーマットカメラやスーパー35mm 搭載カメラに対応しています。

ARRI は、ハイエンドズームレンズの導入は今後極めて重要な投資であるとして、さまざまな経験や専門知識を活用してシグネチャーズームの開発を行いました。その結果、フルフレームを含むあらゆるフォーマットに幅広く使用できる点と、現在発売されている他のズームレンズの多くと比べ格段に高い性能から、将来性が確保されたレンズが誕生しました。HDR・UHD のワークフローでは色収差補正が必要になることが多く、ポストプロセスが困難になることがありましたが、シグネチャーズームはさまざまな収差のないリックを実現していることで、このワークフローがよりシンプルになります。8K の高解像度と影の深いディテールも共に将来のディスプレイ要件に適していますが、ARRI が得意とする製造品質とサポート構造が、さらに長期にわたる製品寿命を保証します。

ARRI シグネチャーズームはその性能がプライムレンズの性能に非常に近く、美しい映像を再現します。また、このレンズは、TV 番組、コマーシャル、ミュージックビデオ、リモートアプリケーションなど、ズームの多様性と時間効率が必要なハイエンドな仕上がりの映像に最適です。シグネチャープライムを補完する付属の高品質ズームレンズもあり、長編映画にはこの両方を活用することで、あらゆるクリエイティブな撮影状況に対応できます。

45～135 mm T2.8 および 65～300 mm T2.8 シグネチャーズームは、2021 年第 1 四半期にリリース予定。これは、65～300 mm 専用の 1.7 倍のエクステンダーを使用することで 110～510 mm T4.9 に変換できます。また、16～32 mm T2.8 および 24～75 mm T2.8 は、2021 年の後半にリリース予定です。

ARRI シグネチャーズームレンズの詳細については、ARRI 公式製品ページ (www.arri.com/signature-zoom-lenses) をご覧ください。

ARRI について：

「Inspiring images. Since 1917. (新たな活力を生み出すイメージ。Since 1917.)」ARRI は映画メディア業界のグローバル企業であり、世界中で約 1,400 名のスタッフを有しています。ARRI は、創設者である August Arnold と Robert Richter の名にちなんで名付けられ、ドイツのミュンヘンに設立されました。ミュンヘンの本社以外にも、ヨーロッパ、南北アメリカ、アジア、オーストラリアに子会社を保有しています。

ARRI グループは、カメラシステム、照明、メディア、レンタルといった幅広い事業を展開しています。ARRI は、映画産業におけるカメラおよび照明の先駆的な設計・製造を行い、グローバルに販売・サービスを展開しています。また、映画のポストプロダ



クシヨ、共同制作、世界各国での販売、機器レンタル、カメラ、照明、グリップパッケージなどの販売・供給も行うメディアサービスプロバイダーです。その技術と業界への貢献は高く評価されており、映画芸術科学アカデミーより科学技術賞を 19 回受賞しました。

各拠点と詳細については、ARRI 公式ウェブサイト (www.arri.com) をご覧ください。